

平成28年度事業評価シート

事業名	20400	秘書事務費	担当課	企画管理部 秘書課	内線		
					2406		
予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本分野			
	款	2 総務費				個別分野	
	項	1 総務管理費				施策の概要	
	目	4 秘書費					
根拠計画							
実施計画事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,024 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長のトップセールスや要望活動により、市の発展や活性化が図られている 市長、副市長の市民等との面談、各種団体の行事等への出席により、多くの要望や意見が市政に反映されている 市長、副市長を含む幹部会等の庁内会議の開催により、円滑な行政運営が図られている 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理による トップセールス、要望活動の実施 市民等との面談、各種団体の行事等への出席 庁内会議等の開催 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> トップセールス、要望活動の実施 市民等との面談、各種団体の行事等への出席 庁内会議等の開催 などのために適正なスケジュール調整と管理を行った 							
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		早朝面談	件	目標値					
				実績値	78	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)					
	成果指標	市民・団体などとの面談	件	目標値					
				実績値	412	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)					
		算出根拠等		達成率(%)					
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額		
歳出(千円)			(A) 11,294	11,522	-	-	-		
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)							
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	一般財源	11,294	11,522						
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 124	128						
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 90,938	90,024					

3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	A	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長によるトップセールスや要望活動、市民等との面談、各種団体の行事等への出席は、大変多く望まれており、そのニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	<ul style="list-style-type: none"> 市のためのトップセールスや要望活動、市民等との面談、各種団体の行事等への出席を、市が実施することが妥当である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民と直接面談・対話を重ねることで、市民とのよりよいパートナーシップの構築に役立っていると、政策判断の一助になっている 国内外の自治体や大学などの新たな連携と交流が広がってきているほか、海外誘客、販売促進、補助金獲得など、その成果は着実に表れてきている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り同一方面の出張先での面談等を調整するなど、効率的なスケジュール調整を行っている 補助金や受益者負担金を検討できる内容の事業ではない。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	A	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長自らが直接行動し、財源確保、交流人口や地域産品の販路の拡大などに取り組むことにより、政策の推進に大きく寄与している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの要望・意見や様々なところから得られた情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内(職員)に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある
--	---

(参考) 前年度事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 市長・副市長の円滑な日程調整を行う
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理を行うとともに、的確な情報収集・管理・伝達・発信を実施している
------------------	--

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H27完了	H28完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理を行う 的確な情報収集・管理・伝達・発信を実施する 						

平成28年度事業評価シート

事業名	20500	表彰事務費		担当課	企画管理部 秘書課	内線
						2406
予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	
	款	2	総務費		個別分野	
	項	1	総務管理費		施策の概要	
	目	5	広報費			
根拠計画						
実施計画事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,024 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・市政の進展に寄与された方々の功績を称えることにより、表彰された人の意識の高揚や地域の活性化が図られている		
概要	事業の実施手法(手段)	・市表彰式の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H27の実績	・市表彰式(11月1日)を実施 ・広報紙(11月1日号)への受賞者名掲載								
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		被表彰者数	件	目標値						
				実績値	92	-	-	-	-	
		算出根拠等		達成率(%)						
		算出根拠等		目標値						
				実績値						
		算出根拠等		達成率(%)						
		算出根拠等		目標値						
				実績値						
		算出根拠等		達成率(%)						
		算出根拠等		目標値						
				実績値						
		算出根拠等		達成率(%)						
		算出根拠等		目標値						
実績値										
算出根拠等		達成率(%)								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H27 決算額	H28 予算額	H29 予算額	H30 予算額	H31 予算額		
	歳出(千円)			(A)	3,060	10,700	-	-		
	受益者負担(使用料・負担金等)									
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)									
	一般財源			3,060	10,700					
コスト指標	受益者1件当たり(円)			(A/B)	34	119	-	-		
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	90,938	90,024	-	-			

3 分析・評価(Check) ※平成27年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・市政の進展に寄与された方々の功績を称え表彰することは求められている(様々な場面で要望等がある)
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市政の振興発展に尽力された方を市として表彰し称えるものであり、市が実施することが妥当である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・被表彰者数は目標値として設定するものではないため、数値として達成状況を評価することは適当ではない
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・表彰規程に基づき実施しており、過度に華美にならないよう必要最小限に留めて実施している
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市民と行政のパートナーシップの構築、協働のまちづくりの意識の醸成などにつながっている
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・市政の進展に貢献された被表彰者を市民を挙げて称えていく土壌の醸成に努めていく必要がある
---------------------------------------	--

(参考) 前年度事業評価結果(二次評価)	・該当者の把握と適正な運用を行う
----------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する28年度の対応状況	・市制施行記念日(11月1日)に合わせた表彰(市制施行80周年式典の開催) ・広報紙による広報
------------------	--

担当課における次年度の考え方	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H27完了		H28完了予定
	・該当者の把握と適正な運用を行う											